The 46th JCI Technical Conference | A. Material & Construction | Sustainable Concrete (Material aspect)

Sustainable Concrete (Material aspect)V

座長:川﨑佑磨(土木),荒巻卓見(建築)
Fri. Jun 28, 2024 9:00 AM - 10:30 AM Room 2 (小展示室B)

[1243]Physical properties of granulated aggregate

Makoto Matsuo[1], Naho Takeda[1], kazuhiho Yamauchi[2], Takayoshi Funao[3] (1.明石工業高等専門学校 2.灰孝小野田レミコン 3.大阪兵庫生コンクリート工業組合)

Keywords: pHおよび六価クロム溶出量試験、粒状化再生骨材、ポーラスコンクリート

本研究では，残コン・戻りコンから製造された粒状化再生骨材，およびこの粒状化再生骨材を用いたポーラスコンクリートの物性を実験的に評価した。試験内容は，粒状化再生骨材の物性試験，ポーラスコンクリートの物性試験および pH・六価クロム溶出量試験とした。その結果，粒状化再生骨材では付着モルタルの影響により吸水率が大きくなり，粒状化再生骨材を用いたポーラスコンクリートでは pH・六価クロム溶出量が大きくなることが分かった。また，ポーラスコンクリートの空隙率と透水係数および圧縮強度には相関関係があり，骨材の粒径や空隙率の割合が影響を及ぼしていることが分かった。

©Japan Concrete Institute